

令和4年度事業報告書

第1 事業活動推進上の基本方針

- 1 共益目的「一般社団法人」として運営・管理の適正を期す。
- 2 国民の自主防犯活動を補完する産業として、「警備業務の適正」及び「警備員の資質向上」を図るための各種施策を推進する。
- 3 人手不足解消のため関係機関との連携を強化し、就職氷河期世代の方向けの就職支援事業等の諸対策を推進する。
- 4 労働関係・社会保険関係・税務関係等に関する情報発信及び周知事業を推進する。
- 5 労働災害の絶無を期すため、セーフティフォーラムの開催、啓発資料の発行等の活動を通じ事故防止意識の醸成を図る。
- 6 県民に見える社会貢献活動を関係機関・団体と連携して積極的に推進する。
- 7 新型コロナウイルス感染症に係る支援制度等の情報発信と感染拡大防止を講じた事業活動を推進する。

第2 事業内容

1 教育関連事業の推進

(1) 公安委員会からの受託講習の実施（令和4年度一般競争入札の受託事業）

千葉県及び千葉県公安委員会との委託契約に基づいて、警備員指導教育責任者講習（新規取得講習、追加取得講習、現任講習）並びに機械警備業務管理者講習を実施した。

なお、新規取得3号と追加取得3号及び新規取得4号と追加取得4号をそれぞれ1回合同で実施したが、うち新規取得4号にあっては受講希望者がいなく、結果として、新規取得を8回実施するところ7回となった。

また、受講人員にあっては、令和3年度より88人増加した。

講習の種別		実施回数	受講人員
警備員指導教育 責任者	新規取得	7回	232人
	追加取得	4回	62人
	現任	8回	284人
機械警備業務管理者		1回	15人
合計		20回	593人

(2) 警備員特別講習事業センター主催の特別講習の開催

夏季の期間及び就職氷河期世代の方向けの就職支援事業の実施並びに講習会場の事情により、8月、9月、12月の特別講習を中止し、計画どおり9回開催した。また、令和3年度同様、受講人員を50人に制限し感染対策を講じて実施した。

特別講習の種別		実施回数	受講人員
施設警備業務	1級	1回	46人
施設警備業務	2級	3回	147人
交通誘導警備業務	2級	3回	138人
雑踏警備業務	1級	0回	0人
雑踏警備業務	2級	1回	47人
貴重品運搬警備業務	2級	1回	48人
合計		9回	426人

(3) 就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業の実施

就職氷河期世代の方の安定的な就労の促進を図り、警備員の確保対策に資する事業として、「警備員になろうとする者の講習」の開催や会員警備会社3社の協力による職場見学の実施及びハローワーク千葉と連携した会員警備会社7社による「合同企業説明会」を開催して、就職氷河期世代の方の警備員への就職支援を図った。その結果は、下記表のとおり。

なお、「令和3年度就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」の実施功勞により、全国警備業協会会長感謝状の贈呈を受けた。

項目	一般求職者	非正規警備員	合計
応募者数	8人	8人	16人
受講決定者数	8人	8人	16人
訓練開始者数	5人	7人	12人
事業修了者数	5人	7人	12人
就職・転換者数	4人	3人	7人

※ 就職・転換者数は、一般求職者の警備会社への就職者数及び非正規雇用警備員の正社員への転換者数を示す。

(4) 新任教育等警備員教育の実施

令和元年の警備業法施行規則の一部改正に伴う教育期の変更や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、出張現任教育を除き、プール監視員を含めた新任教育及び現任教育の実施回数、受講人員ともに前年度より減少した。

種別	実施回数	人員	1回当たりの実施時間
新任教育	2回	9人	3日で20時間
新任教育(プール)	4回	59人	1日で6時間
現任教育	22回	554人	同上
出張現任教育	13回	346人	同上
警備員実践塾	5回	38人	1日で8時間
合計	46回	1,006人	

(5) 経営者研修会の開催

経営者等を対象とした研修会を、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じた上で、次のとおり開催した。

ア 開催日時・場所

日時：令和4年9月8日(木) 午後2時00分から午後5時00分までの間

場所：三井ガーデンホテル千葉

イ 受講者

63社67人

ウ 研修内容

(ア) 「令和3年における警備業の概況等について」

～千葉県警察本部風俗保安課長 齋藤孝之氏

警備業者による警備業法等違反状況及び行政処分状況等について講話を実施した。

(イ) 「サイバー攻撃の実態とその対策について」

～千葉県警察本部サイバー犯罪対策課 星野和彦氏

NTT東日本千葉事業部 八島 隆 氏

あいおいニッセイ同和損害保険千葉支店 石田圭介氏

- 企業活動の妨げとなるサイバー犯罪の脅威
- 中小企業における必要不可欠なセキュリティ対策
- 実被害から考えるセキュリティ対策・サイバー保険

等、専門的知識を有する講師による、具体的な脅威やその対策についての講演を実施した。

(ウ) 「全国警備業協会の事業活動について」

～全警協 専務理事 黒木慶英氏

○ デジタル臨時行政調査会におけるデジタル規制の見直し（7項目のアナログ規制の見直し）に伴う、現在の進捗状況と今後の問題点

○ 警備業法の改正手続きの現状

○ 交通誘導警備業務へのAIの導入

等、全警協において検討している課題についての講演を実施した。

(6) 警備員指導教育責任者等研修会の開催

警備員指導教育責任者等を対象とした研修会を、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じた上で、次のとおり開催した。

ア 開催日時・場所

日 時：令和5年2月10日（金）午後2時00分から午後5時00分までの間

場 所：三井ガーデンホテル千葉

イ 受講者

73社78人

ウ 研修内容

(ア) 「警備業をめぐる諸情勢について」

～千葉県警察本部風俗保安課 調査官 大和将明氏

同上 担当官 勅使河原善彦氏

適正業務の推進に向けて、警備業法等の違反状況や警備員による犯罪状況及び警備業者に対する行政処分状況等について講演を実施した。

(イ) 「信頼を掴むクレーム対応～クレーム対応の基本とカスタマーハラスメント対策について」

～株式会社TMJ 阿部友美氏

セコム株式会社東関東本部長 出口隆行氏

クレームの特性や一次対応の重要性及びクレームに対する基本的な対応ステップ並びにカスタマーハラスメントの影響や判断基準に関することのほか、クレーム対応事例について講演を実施した。

(ウ) 「交通誘導警備業務2級」実技の解説

交通誘導警備業務2級検定試験の合格率向上のため、実技試験を受ける際のポイント等について、現役の特別講習講師がデモンストレーションを行って実技解説を実施した。

(7) テロ対策等研修会及び労働関係等セミナーの開催

ア 「テロ対策等研修会」の開催

施設警備業務や雑踏警備業務を踏まえた危機管理意識の醸成を図るため、8月及び令和5年1月に「テロ対策等研修会」を実施した。その結果は、下記表のとおり。

開催月日	受講会社数・人数
8月19日	11社 18人
1月26日	9社 10人
合 計	20社 28人

イ 「社会保険・労働関係等の法改正対応セミナー」の開催

社会保険の加入要件の変更や育児・介護休業及びパワーハラスメント等労働関係の法改正に関して、知識の習得と法改正の適用に向けた準備の促進を図るため、社会保険労務士（当協会理事）によるセミナーを開催した。

開催月日	受講会社数・人数
6月 3日	16社 19人
6月29日	15社 20人
合計	31社 39人

(8) 教育幹部研修会への参加

- ア 令和4年度は、当協会における指導教育責任者講習講師体制に変更がなかったことから、全警協主催の教育幹部研修会への参加者はなかった。
- イ 令和4年4月7日（木）から同年5月17日（火）までの間、当協会の警備員指導教育責任者講師28名に対する現任講師講習を実施した。

(9) 警備員特別講習講師に対する研修

- ア 令和4年11月8日（火）・9日（水）、茨城県水戸市で開催された関東地区警備業協会連合会主催の「特別講習講師合同研修会」に講師3名を参加させ、講習技術や知識の向上を図った。
- イ 令和4年12月3日（土）、当協会教育センター第1研修室において、特別講習講師17名が参加して、令和4年度千葉県警備員特別講習講師研修会を開催した。

(10) 青年部会員に対する研修

- ア 山口県警備業協会青年部会主催研修会に参加
令和4年5月21日（土）、山口県岩国市において開催された、山口県警備業協会青年部会主催の研修会「至誠研究会」に、岩渕部会長が参加し、山口県警備業協会青年部会員等との交流を深めた。
研修内容：「ICTテクノロジーの活用」・「AI交通システム」など
- イ 三都府県警備業協会青年部会交流会IN TOKYOに参加
令和4年6月15日（水）、東京都警備業協会研修室において開催された、京都府・東京都・千葉県警備業協会青年部会交流会に、岩渕部会長以下3名が参加し、各協会青年部会員との交流と情報交換を実施した。
- ウ 関東地区警備業協会連合会青年部会会議に参加
～関東地区警備業協会連合会青年部会が発足
令和4年8月4日（木）、茨城県水戸市において開催された、関東地区警備業協会連合会青年部会会議に、岩渕部会長が参加し、関東地区各県警備業協会青年部会員との交流と情報交換を実施した。
- エ 全国青年部会長等会議に参加
令和5年3月6日（月）、都内「グランドアーク半蔵門」において、全警協主催による全国青年部会長等会議に、岩渕部会長・行方副部会長が参加し、各都道府県青年部会員との交流と情報交換を実施した。
- オ 青年部会員間における研修の実施
青年部会員による全体会議において、「インボイス制度・電子帳簿保存法」や山口県警備業協会青年部会主催「至誠研究会」における研修結果である、「AI交通システム」等について勉強会を実施した。

(11) 全警協 e ラーニングの周知及び利用促進

- 理事会や各委員会のほか、経営者研修会及び警備員指導教育責任者等研修会等において、全警協 e ラーニングの利用実態等について報告するとともに、利用促進を図った。

2 各種社会活動の推進

(1) 暴力団等反社会的勢力の排除対策の推進

- 警備業界からの暴力団等反社会的勢力の排除を目的として、「令和4年度千葉県警備業協会暴力団等反社会的勢力排除対策協議会総会」を次のとおり開催した。

ア 開催日時・場所

日 時：令和4年7月29日（金）午後3時30分から午後5時00分までの間
場 所：三井ガーデンホテル千葉

イ 出席者

会長・顧問等、暴対協議会役員以下32人

ウ 総会内容

会長及び各顧問からの挨拶に引き続き、当協会京葉支部長による「暴力団等反社会的勢力排除宣言」を行った。また、千葉県警察本部捜査第四課暴力団対策室長による「暴力団情勢について」と題する講演を実施したほか、事務局からは、暴力団等反社会的勢力排除に向けた活動状況等について報告を行い、当協会役員の暴力団等反社会的勢力の排除意識の高揚を図った。

(2) 還付金詐欺等の水際防止に対する協力

千葉県警察と連携し、還付金詐欺等の未然防止対策に係る情報発信に努めるとともに、ATMにおける高齢者への声掛けによって、還付金等詐欺被害を未然に防止した警備員に対する賞揚を積極的に実施した。

(3) 犯罪の未然防止及び交通安全活動の推進

千葉県安全安心まちづくり推進協議会や千葉県交通安全運動推進委員会主催によるキャンペーン等が実施されなかったことから、連携した街頭活動等に参画することができなかったが、千葉県警察本部からの犯罪発生情報や交通安全運動期間をとらえて、「きょうかいだより」等を発出し、犯罪の未然防止及び交通安全に係る情報発信に努めた。

(4) 関係機関・団体との連携

千葉県及び千葉県警察並びに千葉県防犯協会等と連携し、歳末警戒活動に参加するなど、関係機関団体と連携した社会貢献活動に努めた。

(5) 子供見守りサポーター活動の推進

令和4年6月30日（木）、千葉県警察本部生活安全部少年課主催「児童の車内放置防止に向けた取り組みへの協力依頼文書交付式」に会長が出席するとともに、商業施設等の駐車場における見守り活動を推進した。

(6) 合同防災訓練等への参加

千葉県警察本部長との間で締結した災害時協定（締結：平成9年5月12日）に基づく支援活動の実効性を高めるため、千警協災害支援隊として、青年部会員が九都県市合同防災訓練に参加した。

ア 千葉市会場

令和4年9月1日（木） 千葉市蘇我スポーツ公園 青年部会員2名が参加

イ 千葉県会場（大網白里市）

令和4年10月23日（日） 白里海岸市営駐車場 青年部会員4名が参加

(7) 千葉県知事からの要請に基づく警備活動の実施

家畜伝染病「高病原性鳥インフルエンザ」の発生（県内3市1町6例（館山市内の1例を除く。））に伴い、千葉県知事との間で締結した「家畜伝染病発生時における防疫対策業務に関する協定」に基づく警備員の派遣要請を受けて、消毒ポイントに警備員を派遣して交通誘導警備業務等を実施した。

また、令和4年7月11日（月）、令和3年度における鳥インフルエンザ防疫対策警備業務に対する功勞により、千葉県知事感謝状の贈呈を受けた。

(8) 警備業への就職支援活動の推進

ア 令和4年7月6日（水）及び9月28日（水）、ハローワーク千葉及び令和5年2月22日（水）、ハローワーク成田が主催する人手不足分野の就職説明会において、警備業

を紹介するDVDを放映するとともに、青年部会員がリーフレットを活用して、警備業の魅力等を説明し、業界のPRに努めた。

イ 令和5年1月31日（火）、会員企業の協力を得て、ハローワーク千葉と共催による「警備のしごと職場見学会」を開催した。

ウ 令和4年10月12日（水）、就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業において、同事業に参加した一般求職者に対して、ハローワーク千葉と共催による「合同企業説明会」を開催した。

(9) 青年部会員による社会貢献活動の実施

ア 令和4年5月20日（金）、JR千葉駅周辺等において、路上や公園の清掃活動を実施した。

イ 令和4年8月31日（水）、千葉県児童福祉施設協議会（社会福祉法人鳳雄会）に対して、新型コロナウイルス感染症対策に使っていただきたくマスクを寄贈した。

3 適正業務の定着に向けた各種施策の推進

(1) 各委員会において、建築保全労務単価や公共工事設計労務単価について、資料を配付して説明、報告するとともに、特に、労務委員会においては、自主行動計画の周知方法や警備料金の適正化を議題として議論するなど、各委員と適正業務の推進に向けて情報共有を図った。

(2) 支部総会において、労務委員による「警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画」に関する勉強会を実施し、会員企業における適正取引の推進を図った。

(3) 経営者研修会において、全警協専務理事や千葉県警察本部サイバー犯罪対策課等の担当者を講師として招聘し、経営者教育の充実・強化を図った。

(4) 経営者や総務担当者等に対して、社会保険労務士による「社会保険・労働関係等の法改正対応セミナー」を開催し、社会保険の加入要件などの法改正に伴う業務の適正化を図った。

(5) 「警察行政手続サイト」、「インボイス制度」、「電子帳簿保存法」、「公共工事設計労務単価」等について周知を図るための通知文書等を作成、発出して、適正業務の定着に努めた。

4 安全衛生活動の推進

(1) 警備員の交通死亡事故の発生に伴い、再発防止のための会長通達を発出したほか、千葉労働局と連携し、労働災害の発生状況等の資料を作成、発出した。

また、会報7月号に、令和3年度中における「県下の加盟会社における労働災害事故の発生状況」を取りまとめて情報提供を行い、労働災害の未然防止に向けた教育の徹底等を促し、事故防止意識の高揚を図った。

(2) 「セーフティフォーラム2022 in 千葉」の開催

「警備の日」のイベントとして、また、現場警備員の安全確保及び勤務環境の改善を図り、労災事故等の未然防止を図ることの重要性を再認識するために開催した。

ア 開催日時・場所

日 時：令和4年11月11日（金）午後2時10分から午後4時40分までの間

場 所：三井ガーデンホテル千葉

イ 出席者

役員・青年部会員及び希望会員 計78人

ウ 大会内容

セーフティフォーラムの開会に先立ち、労災事故防止等に関する論文、ポスター、標語、の優秀作品の作成者に会長表彰を授与した。

大会においては、青年部会員代表者が大会宣言を読み上げ、労働災害事故の絶無を誓ったほか、千葉県警察本部風俗保安課長、千葉市消防局救急課長及び千葉労働局健康安全課

副主任産業安全専門官からの挨拶に続き、千葉労働局健康安全課副主任産業安全専門官による「警備業における労働災害の防止について」と題する講演と（株）オークスベストフィットネス、プログラムスーパーバイザーによる、「身体機能の強化による転倒事故の防止について」と題して、実演を取り入れた講演を実施した。

- (3) 労働災害防止論文、ポスター、標語を募集して、優秀作品を全国警備業協会に推薦したほか、優秀作品ポスターを会員に配布して、労働災害防止意識の醸成を図った。

なお、令和3年に当協会から全国警備業協会に推薦していた、ALSOK千葉（株）中島智之氏の作品「プロパー事故を無くすために」が、論文の部において、全国第2位に入賞し、令和4年7月6日（水）、警備業全国安全衛生大会の席上、全国警備業協会会長賞を受賞した。

5 広報・啓発活動等の推進

- (1) 機関誌・ホームページ等を活用した広報活動の推進

会報やホームページ等を活用し、会員に対する各種情報の提供に努めたほか、業界紙と連携し、特別講習の実施状況や協会活動等を発信するなどして、協会活動等の広報に努めた。

- (2) 「きょうかいだより」による情報発信活動の推進

随時、「きょうかいだより」を作成して、会員会社の組織管理等に役立つ各種情報を積極的に発信した。

特に、労務関係や労働災害について、タイムリーに「きょうかいだより」を発出して、最新情報の提供や労働災害事故の防止に努めた。

- (3) 「警備の日」の周知活動

ア 日刊建設タイムズ紙に「警備の日」の特集記事を掲載したほか、11月11日（金）、「セーフティフォーラム2022 in 千葉」を開催して、業界内外に「警備の日」をアピールした。

イ 9月28日（水）、ハローワーク千葉で開催された就職セミナーの席上において、青年部会員が、「警備の日」のクリアファイルやティッシュを出席者に配付して周知を図った。

6 賞揚措置

優良警備員64社158名及び警備員特別講習事業等に貢献のあった特別講習講師等9名を賞揚したほか、事案処理や事故の未然防止及び協会運営の貢献等、その功績が顕著で警備業務の信頼と名誉を高めた警備員16件19名と2社を賞揚した。

7 災害備蓄品の整備

災害発生時、災害支援隊の派遣要請等に対応するため、整備計画に基づき、食料、飲料水、感染症対策品等の「災害対策用物品」を購入して整備を図った。

8 斡旋物資の販売

警備業に関連する書籍や視聴覚教材等の販売に当たり、会員からの購入要望に対して、全警協と連絡を取りながら販売を促進した。

9 新規会員加入促進活動の推進

令和5年3月31日現在

- 正会員数266社（令和4年度中：新規入会4社、退会6社）
- 賛助会員 14社（令和4年度中：新規入会1社、退会なし）

10 協会会員間の交流事業の実施

- (1) 賀詞交歓会の開催

令和5年1月12日（木）、三井ガーデンホテル千葉において、千葉県知事等来賓をお招きして、第1部（挨拶・名刺交換会）、第2部（懇談会）方式により、「令和5年千葉県警備業協会賀詞交歓会」を開催した。（第1部出席人員92名）

- (2) チャリティーゴルフコンペの開催

令和4年11月22日(火)、成田市所在「グリッサンドゴルフクラブ」において、会員61名が参加して、「第7回千葉県警備業協会チャリティーゴルフコンペ」を開催した。
なお、同コンペで集まったチャリティー額217,392円を、県内の社会福祉に役立ていただくため、令和4年12月9日(金)、「千葉日報福祉事業団」に寄託した。

以上